

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】平成30年6月14日 (2018.6.14)

【公開番号】特開2016-212479(P2016-212479A)
【公開日】平成28年12月15日 (2016.12.15)
【年通号数】公開・登録公報2016-068
【出願番号】特願2015-92573(P2015-92573)
【国際特許分類】

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 12/00 5 2 0 P

【手続補正書】
【提出日】平成30年4月25日 (2018.4.25)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 7
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 7】

本発明は、複数のファイルについて、それぞれ指定された保存場所に対応する条件を満たしているかをまとめて確認可能な仕組みを提供することを目的とする。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 8
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 8】

本発明は、ファイルを保存する保存場所と、前記保存場所に対応する規約を管理する情報処理装置を、複数のファイルについて保存場所の指定を受け付ける指定受付手段と、前記指定受付手段により指定された複数のファイルと保存場所を表示する表示手段として機能させ、前記表示手段を、当該複数のファイルのうちどのファイルが、どの保存場所に対応する前記規約の条件を満たしているか又は満たしていないかを識別可能に表示する手段として機能させることを特徴とする。

【手続補正 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 9
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 9】

本発明によれば、複数のファイルについて、それぞれ指定された保存場所に対応する条件を満たしているかをまとめて確認可能な仕組みを提供することができる。

【手続補正 4】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

ファイルを保存する保存場所と、前記保存場所に対応する規約を管理する情報処理装置を、

複数のファイルについて保存場所の指定を受け付ける指定受付手段と、

前記指定受付手段により指定された複数のファイルと保存場所を表示する表示手段として機能させ、

前記表示手段を、当該複数のファイルのうちどのファイルが、どの保存場所に対応する前記規約の条件を満たしているか又は満たしていないかを識別可能に表示する手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 2】

前記情報処理装置を、

前記表示手段により表示された前記複数のファイルをそれぞれの指定された保存場所にまとめて保存する指示を受け付けるための指示受付部を表示する指示部表示手段と、

前記指示部において指示を受け付けた場合に、一覧に表示されている複数のファイルをそれぞれの指定された保存場所に保存すべく制御する制御手段として機能させるための請求項 1 に記載のプログラム。

【請求項 3】

前記情報処理装置を、

前記表示手段により表示されている、前記規約の条件を満たしていないファイルを、前記指示受付部に対する指示を受け付けることにより保存すべく制御する対象から除外する除外手段として機能させ、

前記表示手段を、前記指示部において指示を受け付けた場合に、前記除外手段により除外されておらず、一覧に表示されている複数のファイルをそれぞれの指定された保存場所に保存すべく制御する手段として機能させるための請求項 2 に記載のプログラム。

【請求項 4】

前記ファイル及びファイルを保存する保存場所を管理する管理アプリケーションを記憶する管理アプリケーション記憶手段と、前記制御手段を備える保存場所チェックツールとを記憶するツール記憶手段と、を備える前記情報処理装置において、

前記制御手段を、前記保存場所チェックツールから前記管理アプリケーションに対して対象となるファイルの保存指示することで、前記表示手段により表示されている複数のファイルをそれぞれの指定された保存場所に保存する手段として機能させるための請求項 2 又は 3 に記載のプログラム。

【請求項 5】

前記表示手段を、前記複数のファイルのうちどのファイルが、どの保存場所に対応する前記規約の条件のうち、どのような条件を満たしていないかを識別可能に表示する手段として機能させるための請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載のプログラム。

【請求項 6】

前記規約の条件とは、前記ファイルが所定の属性を備えているか否かを判断するための条件であることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載のプログラム。

【請求項 7】

ファイルを保存する保存場所と、前記保存場所に対応する規約を管理する情報処理装置であって、

複数のファイルについて保存場所の指定を受け付ける指定受付手段と、

前記指定受付手段により指定された複数のファイルと保存場所を表示する表示手段と、を備え、

前記表示手段は、当該複数のファイルのうちどのファイルが、どの保存場所に対応する前記規約の条件を満たしているか又は満たしていないかを識別可能に表示することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 8】

ファイルを保存する保存場所と、前記保存場所に対応する規約を管理する情報処理装置の制御方法であって、

複数のファイルについて保存場所の指定を受け付ける指定受付工程と、
前記指定受付工程により指定された複数のファイルと保存場所を表示する表示工程と、
を含み、
前記表示工程において、当該複数のファイルのうちどのファイルが、どの保存場所に対応する前記規約の条件を満たしているか又は満たしていないかを識別可能に表示することを特徴とする制御方法。

【請求項 9】

ファイルを保存する保存場所を備える記憶装置と、前記保存場所に対応する規約を管理
する情報処理装置とを含む情報処理システムを制御するためのプログラムであって、
前記情報処理システムを、
複数のファイルについて保存場所の指定を受け付ける指定受付手段と、
前記指定受付手段により指定された複数のファイルと保存場所を表示する表示手段とし
て機能させ、
前記表示手段を、当該複数のファイルのうちどのファイルが、どの保存場所に対応する
前記規約の条件を満たしているか又は満たしていないかを識別可能に表示する手段として
機能させるためのプログラム。

【請求項 10】

ファイルを保存する保存場所を備える記憶装置と、前記保存場所に対応する規約を管理
する情報処理装置と、を含む情報処理システムであって、
複数のファイルについて保存場所の指定を受け付ける指定受付手段と、
前記指定受付手段により指定された複数のファイルと保存場所を表示する表示手段と、
を備え、
前記表示手段は、当該複数のファイルのうちどのファイルが、どの保存場所に対応する
前記規約の条件を満たしているか又は満たしていないかを識別可能に表示することを特徴
とする情報処理システム。

【請求項 11】

ファイルを保存する保存場所を備える記憶装置と、前記保存場所に対応する規約を管理
する情報処理装置とを含む情報処理システムの制御方法であって、
複数のファイルについて保存場所の指定を受け付ける指定受付工程と、
前記指定受付工程により指定された複数のファイルと保存場所を表示する表示工程と、
を含み、
前記表示工程において、当該複数のファイルのうちどのファイルが、どの保存場所に対応する前記規約の条件を満たしているか又は満たしていないかを識別可能に表示すること
を特徴とする制御方法。